

MINIMINI MINES

平成30年度 鉱業博物館業務体験 が終了しました

教養科目「鉱業博物館業務体験」の今年度の実習が終了しました。この科目では、例年、標本の整理、館内案内実習、「ジュニアサイエンススクール」の準備や当日の引率、出張展示のリニューアルに関する作業などを行っています。今年度は17名の学生が履修し、例年の内容に加え、地下温度測定のための穴掘り作業やテレビ、ラジオ番組内での当館の紹介など、様々な業務を行いました。

5月から半年以上に渡って行われた活動の様子をご紹介します。

標本情報を入力



岩石試料のプレパラートを作成中!



ジュニアサイエンススクールで、参加者のサポートをしました



業務体験日誌より（一部抜粋）

博物館案内の練習をして
博物館のことをしっかり説明できるようになれば今後の国際資源の勉強につながると思うので、練習を頑張りたい。
(国際資源学部 1年)

岩石プレパラート（薄片）作りをして
どこの部分を薄く削ればいいのか考えながら作った。今後も薄片を作る機会があると思うので、慣れて上達したい。
(国際資源学部 1年)

標本の資料情報の打ち込み作業をして
鉱山の資料の打ち込みをした。写真を見ながら作業したが、鉱山に関わった人物や道具についても勉強になった。
(理工学部 1年)

テレビ番組の収録で当館の魅力を伝えました



地下温度測定のための穴掘り作業を行いました



新潮社記念文学館企画展

佐竹北家日記にみる天文現象展

鉱業博物館所蔵標本 **白岩隕石** を提供しています

鉱業博物館は、新潮社記念文学館企画展「佐竹北家日記に見る天文現象展」で、当館所蔵標本「白岩隕石」を貸出しています。企画展では、延宝2年(1674年)から明治27年(1894年)まで佐竹北家角館当主により220年間書き続けられてきた「佐竹北家日記」の中から、日食・月食・彗星出現などの天文現象に関わる記録をパネル展示しています。当館が提供している資料は、大正9年(1920年)に角館町白岩地区で発見された白岩隕石の実物標本、隕石の発見地と星宮(隕石が落ちた方向に向けて建てられたと伝えられている祠。大崎市横堀星宮の地名の由来。)の位置を示す資料です。

展示期間	平成31年3月29日(金)まで
展示場所	新潮社記念文学館
所在地	秋田県仙北市角館町田町上丁23
開館時間	9:00~16:30
休館日	月曜日(祝日は開館)
観覧料	大人300円 小中学生150円
問い合わせ先	0187-43-3333 (仙北市学習資料館共通)

新潮社記念文学館での展示の様子



企画展の様子



白岩隕石の展示



提供している白岩隕石

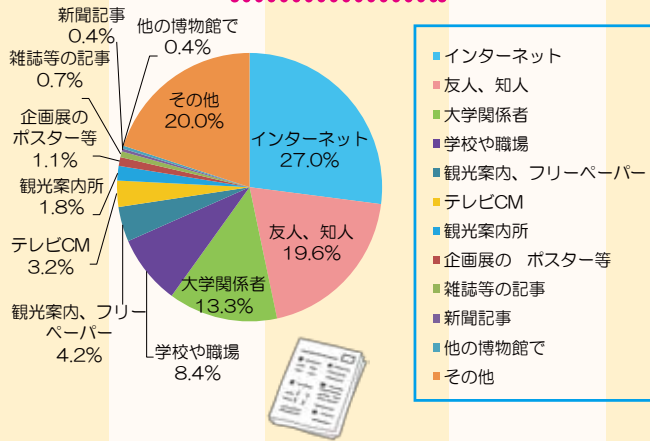


平成30年 鉱業博物館来館者アンケート 集計結果から



鉱業博物館では、来館者を対象にアンケートを実施しております。平成30年4月1日から12月31日までの入館者6,781名のうち、アンケートにお答えいただいた1,035名の方の回答を集計しました。集計結果のうち、今回は「当館を知ったきっかけ」「面白かったもの、興味を引かれたもの」について報告します。

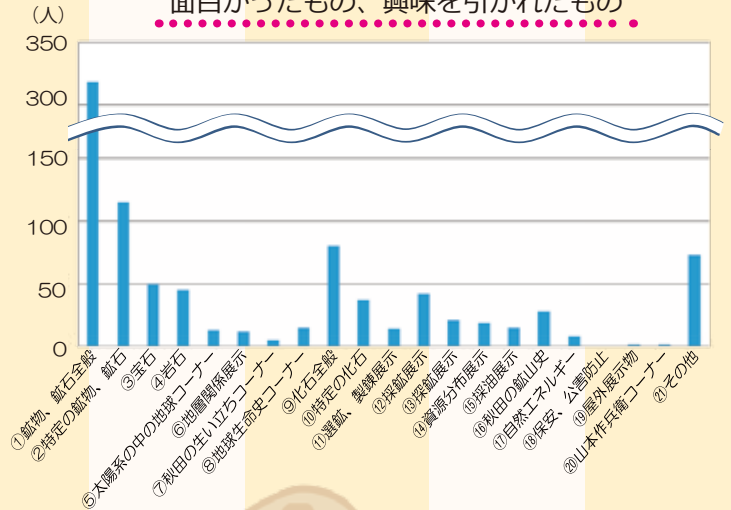
知ったきっかけ



当館を知ったきっかけについての質問では、インターネットで、との回答が一番多く27.0%をしめました。ここ数年はインターネットで知る方の割合が高い傾向にあり、語句検索、SNS、ホームページの他、地図を検索して当館を知った方もいらっしゃいました。当館ホームページや観光情報サイトでは、入館案内のほか、特別展などのイベント情報なども掲載しています。これからも、随時新しい情報を発信していきます。

次いで、友人や知人からの勧め20.0%、大学関係者から聞いて13.3%、学校や職場で聞いて8.4%が続きました。この結果から、当館を知る人が勧めてくださったケースが非常に多いことが分かりました。大変ありがたいことであり、今後も来館者の皆さんに満足して頂けるよう、充実を図ってまいります。

面白かったもの、興味を引かれたもの



「面白かったもの、興味を引かれたもの」についての質問では、1階展示室の鉱物や鉱石との回答が特に多く、蛍光鉱物や紫水晶、沸石など、特定の鉱物に興味を持った方も多くいらっしゃいました。2階展示室の化石、岩石と記入された回答も多く、様々な種類の化石を見られて良かった、との声も寄せられました。3階の展示では、採鉱や選鉱に関する模型、秋田の鉱山史コーナー、バーチャル鉱山体験展示と回答された方が多くいらっしゃいました。また、全館通して展示物が豊富で見応えがあった、触ることが出来る標本がたくさんあって良かった、といった感想もいただきました。

大変多くの方にアンケートにご記入頂きました。ご協力ありがとうございました。

平成31年度

鉱業博物館サイエンスボランティア

募集中!

鉱業博物館では、平成31年度鉱業博物館サイエンスボランティアを募集します。サイエンスボランティアは、博物館の様々な活動に参加し運営をサポートします。活動内容は、館内の案内や、団体客見学時の誘導、環境整備、工作や情報分野の作業などです。

鉱物や化石、鉱山に興味がある方、木工や電気などの特技を活かしたい方、社会貢献活動をしたい方などの参加を募集しております。また、活動をサポートするため、当館の概要や標本について解説する講習会、野外での研修会を実施しております。下記問い合わせ先まで、お気軽にお問い合わせください。



団体見学の案内

環境整備活動

- ▶ **活動期間** 平成31年4月1日～翌年3月31日までの一年間
- ▶ **活動内容** 見学者への案内と説明
見学のサポート
環境整備など
- ▶ **募集対象** 高校生以上の方であれば、どなたでも参加いただけます。
※登録者には鉱業博物館負担による傷害保険に加入いただけます。

開催のお知らせ

平成30年度第5回鉱業博物館開放講座

ゲート街道およびシルバー街道の橋梁

日時：平成31年3月13日(水)
14:00～15:00

講師：川上 洵 氏 (秋田大学名誉教授)

会場：鉱業博物館 3F 講堂

※入館・聴講ともに無料。事前申し込みは不要。

皆様のお越しをお待ちしております。

問い合わせ先

鉱業博物館 事務室

TEL: 018-889-2461

(土日祝除く9時～16時)

E-mail: w3admin@mus.akita-u.ac.jp